

ふるさと企業 この一手

■27■

フルハイビジョンよりも画質が4倍高い「4K」、16倍高い「8K」のパネルディスプレイが近い将来、普及する。時代を先取りする形で、フラットパネルの点灯検査用の信号発生装置をパネルメーカー向けに開発し、さらなる性能向上に取り組んでいる。

デジタルカメラの撮影映像などのデータを取り込んで処理し、パネルディスプレイに転送、表示する。大容量のデータを

ちくま精機



点灯検査装置を用いた8K映像の大画面を操作する花村社長

大容量の映像データ転送

精密機器を開発製造

超高速で転送できる箱型装置で、メーカーの製品検査や技術開発に使われている。5000台以上の販売実績があり、売り

上げ全体の約6割を占めている。従来の仕様を高度化した「FREEDOMmk II」は、革新

〈ちくませいき〉安曇野市明科七貴6043。昭和44年に設立。機器の受託製造を中心に事業展開してきた。パソコンの組み立て、精密機器、家庭用生ごみ処理機の開発製造を手掛け、企画からサポートまで一貫して提供する「ワンストップソリューション」を掲げる。従業員約150人。社名は明科を通り大阪まで直行していたJRの急行列車「ちくま」に由来。

的・独創的な製品を具が表彰する「NAGANO 2014」に認定された。本社1階にはフルハイビジョンのパネルを16枚つなぎ合わせた98・3

自社開発したフラットパネルの点灯検査装置「FREEDOMmk II」



寸の大画面があり、高精密の風景映像を表示している。小さな看板に書かれた細かい文字まで読み取れる鮮明さだ。

高画質パネルは、デジタル看板(サイネージ)や車載用電子機器、医療機器などの分野で活躍の場が広がっている。取引がある国外のパネルメーカーにも定期的に社員

注目!!この数字

81億ビット

自社開発したフラットパネル点灯検査装置「FREEDOMmk II」が1秒間に転送できるデータ量。4K、8K映像の大容量データにも超高速で対応できる機能を持つ。

が向き、海外の市場ニーズも探っている。来年は会社設立から50周年の節目を迎える。花村薫社長(70)は「世の中の『こうなればいいな』という所に生かせる技術、サービスとして合っている。まだ改良の余地がある」と性能向上に意気込む。(長尾浩道)